

平成22年国勢調査結果

平成24年7月
情報政策課
Tel: 06-6489-6150

尼崎市の流動人口 (従業地・通学地集計結果)

平成22年国勢調査の従業地・通学地集計結果が、総務省統計局から公表されました。ここではその尼崎市に関する概要をお知らせします。なお、用語の定義など調査の概要及び全国結果等については、総務省統計局ホームページ(下記URLから)をご覧ください。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>

流入人口は減少、流出人口は増加

平成22年10月1日現在の尼崎市の流動人口を見ると、流入人口総数は85,795人となり156人(0.2%)減少しました。このうち通勤者は82,098人となり752人(0.9%)増加、通学者は3,697人となり、908人(19.7%)減少となっています。

流出人口総数は112,167人となり8,212人(7.9%)増加しました。このうち通勤者は99,482人となり6,751人(7.3%)増加、通学者は12,685人となり1,461人(13.0%)増加となっています。

常住人口(夜間人口)453,748人に対し、昼間人口は439,358人となっており、これを差し引くと14,390人が市外へ流出している状況となっています。また昼間人口率(昼間人口の夜間人口に対する比率)は96.8%となり、0.7ポイント増の微増となりました。

図1 常住人口(夜間人口)と昼間人口の推移(尼崎市)

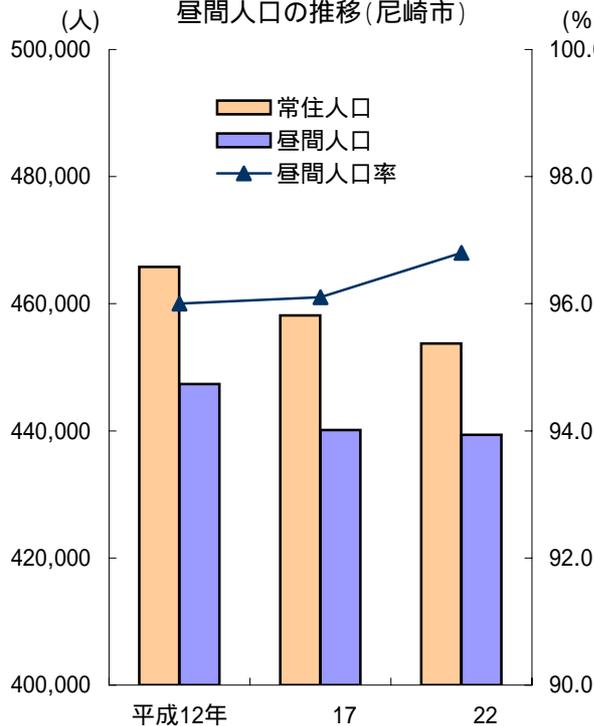


図2 流入・流出人口の推移(尼崎市)

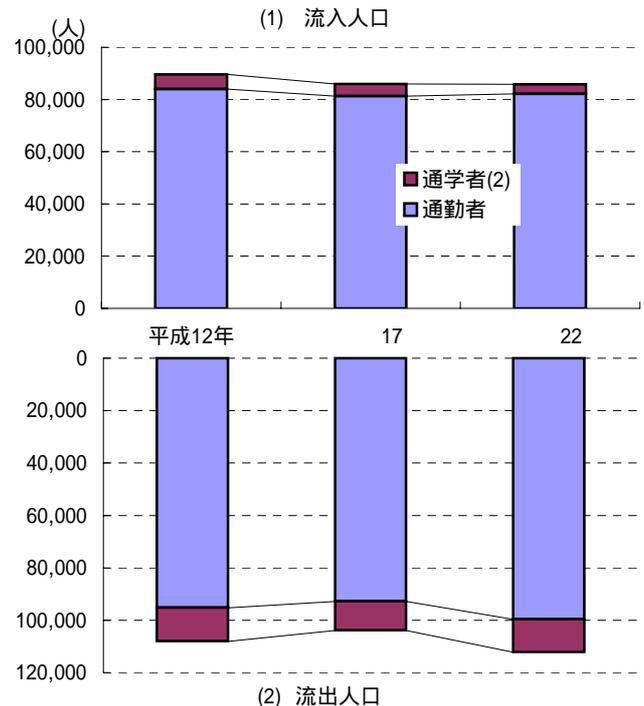


表1 尼崎市の流動人口(平成12、17、22年) 注

年次	常住人口(夜間人口)	昼間人口(1)	昼夜間人口差	昼間人口率(%)	流入人口			流出人口(3)		
					総数	通勤者	通学者(2)	総数	通勤者	通学者(2)
平成12年	465,821	447,374	18,447	96.0	89,598	83,941	5,657	108,045	95,105	12,940
17	458,155	440,151	18,004	96.1	85,951	81,346	4,605	103,955	92,731	11,224
22	453,748	439,358	14,390	96.8	85,795	82,098	3,697	112,167	99,482	12,685

(1) 従業地・通学地「不詳」で、尼崎市に常住している者を含む。(2) 通学者数には15歳未満を含む。

(3) 平成22年は他市区町村に従業・通学で、従業地・通学地「不詳」を含む。

注 労働力状態「不詳」を含む。平成12、17年は年齢「不詳」を含まない。平成22年は年齢「不詳」を含む。

(年齢不詳:平成12年 366人、17年 4,492人、22年 4,631人)

近隣自治体の昼夜間人口との比較

尼崎市の昼間人口率を近隣自治体と比較すると、兵庫県全体の95.7%より1.1ポイント高く、神戸市の102.6%より5.8ポイント低くなっています。また尼崎市の昼間人口率は阪神地区7市1町の中では最も高く、住宅地と産業都市との中間的な性格であると思われます。

表2 近隣自治体の昼夜間人口、昼間人口率

自治体名	夜間人口	昼間人口	昼間人口率(%)	自治体名	夜間人口	昼間人口	昼間人口率(%)
尼崎市	453,748	439,358	96.8	宝塚市	225,700	181,755	80.5
兵庫県	5,588,133	5,347,839	95.7	川西市	156,423	125,023	79.9
神戸市	1,544,200	1,583,765	102.6	三田市	114,216	103,098	90.3
西宮市	482,640	430,285	89.2	大阪府	8,865,245	9,280,560	104.7
芦屋市	93,238	74,668	80.1	大阪市	2,665,314	3,538,576	132.8
伊丹市	196,127	178,488	91.0	豊中市	389,341	347,467	89.2

流動人口の流入元及び流出先

流入人口85,795人の主な流入元を府県別に見ると、兵庫県内他市町が54,392人(構成比63.4%)と最も多く、次いで大阪府が27,850人(構成比32.5%)が多くなっており、兵庫県内のうち尼崎市を除く阪神6市1町が40,485人(構成比47.2%)と全体のほぼ半数を占めています。さらにこれを都市別に見ると多い順に西宮市15,116人(構成比17.6%)、伊丹市12,656人(構成比14.8%)、大阪市11,631人(構成比13.6%)、神戸市10,693人(構成比12.5%)とそれぞれ1万人を上回っています。

次に流出人口112,167人の流出先を府県別に見ると大阪府が60,231人(構成比53.7%)と最も多く、次いで兵庫県内他市町が36,488人(構成比32.5%)が多くなっており、兵庫県内のうち阪神6市1町が23,320人(構成比20.8%)となっています。さらにこれを都市別に見ると多い順に大阪市44,802人(構成比39.9%)、神戸市12,067人(構成比10.8%)、西宮市11,499人(構成比10.3%)とそれぞれ1万人を上回っています。

表3 流入人口の主な流入元

区分	総数	兵庫県	阪神地区 (注1)				神戸市	大阪府	大阪府	
			西宮市	伊丹市	宝塚市	大阪市			豊中市	
総数	85,795	54,392	40,485	15,116	12,656	5,420	10,693	27,850	11,631	3,069
従業者数	82,098	51,647	38,708	14,606	12,105	5,075	10,072	27,043	11,334	2,967
通学者数 (注2)	3,697	2,745	1,777	510	551	345	621	807	297	102

表4 流出人口の主な流出先

区分	総数	兵庫県	阪神地区 (注1)				神戸市	大阪府	大阪府	
			西宮市	伊丹市	宝塚市	大阪市			豊中市	
総数	112,167	36,488	23,320	11,499	7,236	2,017	12,067	60,231	44,802	3,648
従業者数	99,482	31,068	20,152	9,237	7,048	1,778	9,991	55,464	42,721	3,328
通学者数 (注2)	12,685	5,420	3,168	2,262	188	239	2,076	4,767	2,081	320

(注1) 西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町の6市1町の合計である。

(注2) 15歳未満の通学者を含む。